

令和6年能登半島地震被災者に向けた
住まい再建にかかる意向調査結果

令和7年4月

石川県能登半島地震復旧・復興推進部 生活再建支援課

目次

I 本調査の趣旨・概要.....	1
II 調査結果.....	3
1. 対象世帯について.....	3
(1) 世帯主の年齢.....	3
(2) 被災時の住宅種別.....	4
(3) 被災した住宅の状況.....	4
2. 健康状況について.....	5
3. 収入状況について.....	5
(1) 世帯主の主な仕事.....	5
(2) 現在の収入種別.....	6
(3) 世帯収入額の見込み.....	6
4. 住まい再建について.....	7
(1) 住まい再建の現状.....	7
(2) 住まい再建の方法.....	8
(3) 住まい再建を希望する場所.....	9
(4) 住まい再建の完了見込み.....	10
(5) 住まい再建にあたっての課題.....	11
III 参考資料.....	12
(1) 意向調査回答様式.....	12

I 本調査の趣旨・概要

1. 実施概要

令和6年能登半島地震発災から1年が経過する中で、建設型応急住宅の建設が令和6年12月中に完了したことに加え、賃貸型応急住宅の入居申請についても令和7年1月末で終了したことを受け、建設型応急住宅、賃貸型応急住宅及び公営住宅入居者の現在の状況や今後の住まい再建についての意向を把握するべく本調査を実施した。

2. 実施詳細

(1) 調査対象世帯

令和6年能登半島地震において、災害救助法の適用を受けた県内17市町で被災した世帯のうち、建設型応急住宅、賃貸型応急住宅及び公営住宅に入居中の世帯

(2) 調査方法

調査の対象世帯に調査票一式を郵送

回答方法は以下の2つからいずれか1つを選択

- ・送付した調査票様式に回答を記入し返送する方法
- ・調査票に同封したQRコードより回答フォームにアクセスし入力する方法

(3) 調査期間

令和6年12月9日～令和7年3月31日

3. 調査回答状況

(1) 調査対象世帯数 10,246件

うち建設型応急住宅	6,289件	(61.4%)
うち賃貸型応急住宅	3,230件	(31.5%)
うち公営住宅避難者	727件	(7.1%)

(2) 調査回答世帯数 8,410件 (回答率82.1%)

うち建設型応急住宅	5,146件	(61.2%)
うち賃貸型応急住宅	2,682件	(31.9%)
うち公営住宅避難者	582件	(6.9%)

(3) 被災市町別調査対象世帯数及び回答世帯数

(単位：世帯)

市町名	建設型応急住宅		賃貸型応急住宅		公営住宅		合計	
	対象世帯	回答世帯	対象世帯	回答世帯	対象世帯	回答世帯	対象世帯	回答世帯
金 沢 市			61	57	22	20	83	77
七 尾 市	563	491	468	387	105	92	1,136	970
小 松 市			11	8	1	0	12	8
輪 島 市	2,666	2,220	1,099	911	245	193	4,010	3,324
珠 洲 市	1,533	1,200	721	620	132	115	2,386	1,935
加 賀 市			16	16			16	16
羽 咋 市	39	38	81	74	16	11	136	123
か ほ く 市			47	36	14	8	61	44
白 山 市					3	3	3	3
能 美 市			2	2	6	6	8	8
津 幡 町			16	16	10	9	26	25
内 灘 町	73	56	238	196	21	15	332	267
志 賀 町	354	248	176	117	24	11	554	376
宝 達 志 水 町	3	2	9	7	12	11	24	20
中 能 登 町	31	31	27	27	18	15	76	73
穴 水 町	518	437	99	82	35	19	652	538
能 登 町	509	423	159	126	63	54	731	603
計	6,289	5,146	3,230	2,682	727	582	10,246	8,410

※野々市市及び川北町は災害救助法未適用のため調査対象外

※対象世帯及び回答世帯は、発災時に居住していた市町ごとに計上

集計表の注意点

- (1) 報告書中の「n」とは、その設問項目の回答世帯数または、回答件数である。
- (2) パーセントの値は、小数点第2位を四捨五入し小数点第1位までを表記してある。
- (3) 回答者が2つ以上の回答をすることができる質問（複数回答）では、回答件数の合計及び回答率は回答者数（100.0%）を超える場合がある。

II 調査結果

1. 対象世帯について

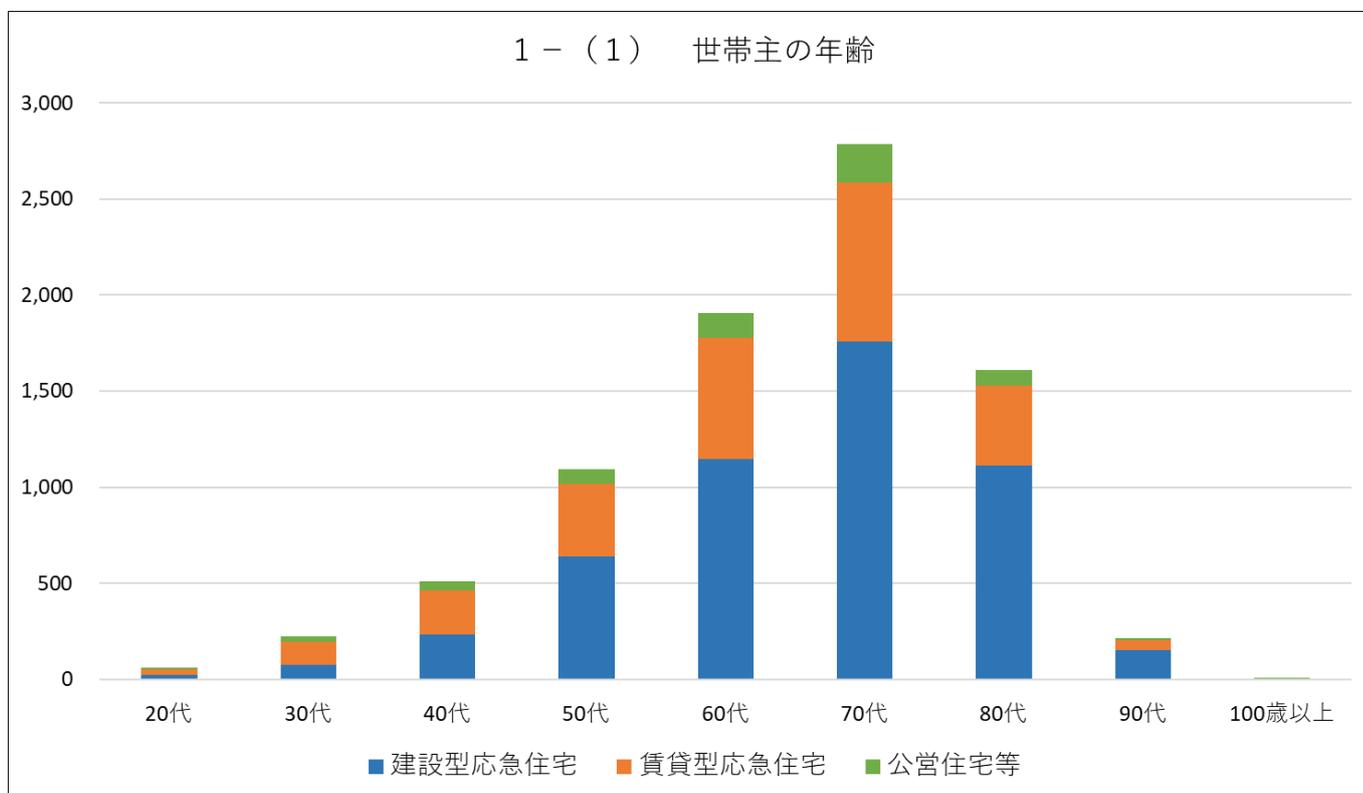
(1) 世帯主の年齢

年代別に見ると、「70代」が約3割と最も多く、60代以上の年代を合計すると、全体の約8割であった。

1 - (1) 世帯主の年齢

(N=8,410)

	建設型応急住宅		賃貸型応急住宅		公営住宅等		合計	
		割合		割合		割合		割合
20代	22	0.4%	29	1.1%	9	1.5%	60	0.8%
30代	77	1.5%	120	4.5%	28	4.8%	225	2.4%
40代	234	4.5%	228	8.5%	49	8.4%	511	5.9%
50代	640	12.4%	376	14.0%	77	13.2%	1,093	13.1%
60代	1,146	22.3%	633	23.6%	126	21.7%	1,905	22.6%
70代	1,759	34.2%	828	30.8%	199	34.2%	2,786	33.7%
80代	1,113	21.6%	415	15.5%	82	14.1%	1,610	19.1%
90代	152	3.0%	53	2.0%	11	1.9%	216	2.3%
100歳以上	3	0.1%	0	0.0%	1	0.2%	4	0.1%
計	5,146	100.0%	2,682	100.0%	582	100.0%	8,410	100.0%



(2) 被災時の住宅種別

被災時の住宅種別は、「持家」が全体の約9割であった。

1 - (2) 被災時の住宅種別

(N=8,410)

	建設型応急住宅		賃貸型応急住宅		公営住宅等		合計	
		割合		割合		割合		割合
持家	4,852	94.3%	2,443	91.1%	341	58.6%	7,636	90.8%
民間賃貸住宅	169	3.3%	160	6.0%	58	10.0%	387	4.6%
公営住宅	22	0.4%	23	0.8%	52	8.9%	97	1.2%
その他	55	1.1%	40	1.5%	9	1.5%	104	1.2%
未回答	48	0.9%	16	0.6%	122	21.0%	186	2.2%
計	5,146	100.0%	2,682	100.0%	582	100.0%	8,410	100.0%

(3) 被災した住宅の状況

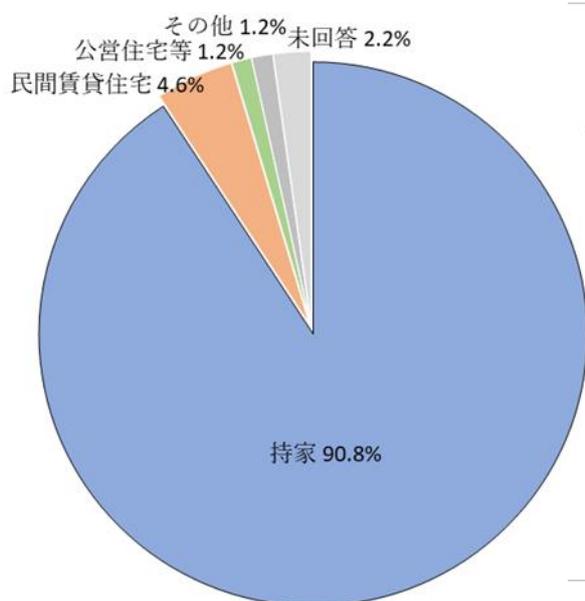
「半壊以上で解体する」が全体の約5割と最も多く、次いで「全壊」が約4割であった。

1 - (3) 被災した住宅の状況

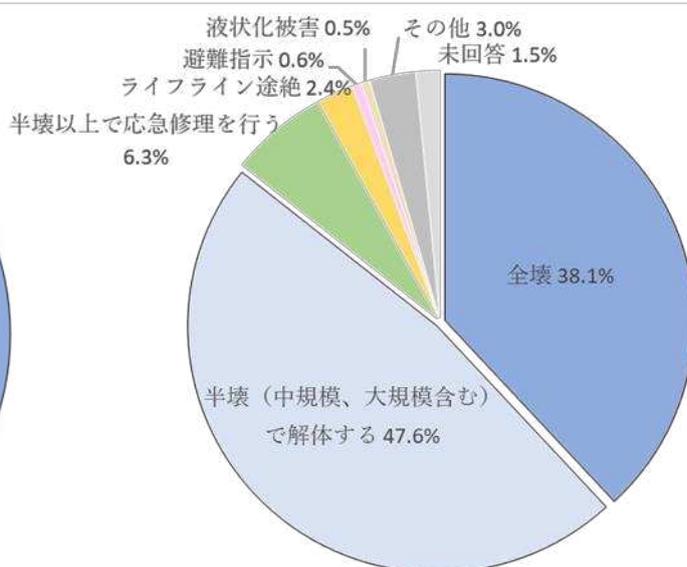
(N=8,410)

	建設型応急住宅		賃貸型応急住宅		公営住宅等		合計	
		割合		割合		割合		割合
全壊	2,134	41.5%	939	35.0%	130	22.3%	3,203	38.1%
半壊以上解体	2,400	46.6%	1,333	49.7%	267	45.9%	4,000	47.6%
半壊以上修理	360	7.0%	148	5.5%	22	3.8%	530	6.3%
液状化被害	10	0.2%	30	1.1%	4	0.7%	44	0.5%
ライフライン途絶	65	1.3%	101	3.8%	33	5.7%	199	2.4%
避難指示	27	0.5%	22	0.8%	7	1.2%	56	0.6%
その他	80	1.5%	77	2.9%	93	16.0%	250	3.0%
未回答	70	1.4%	32	1.2%	26	4.4%	128	1.5%
計	5,146	100.0%	2,682	100.0%	582	100.0%	8,410	100.0%

1 - (2) 被災時の住宅種別



1 - (3) 被災した住宅の状況



2. 健康状況について

「通院中である」と答えた世帯が約5割であった。

2 健康状況について（複数回答）

(N=8,410)

	建設型応急住宅		賃貸型応急住宅		公営住宅等		合計	
		割合		割合		割合		割合
入院中	180	3.5%	93	3.5%	14	2.4%	287	3.4%
通院中	2,416	46.9%	1,249	46.6%	205	35.2%	3,870	46.0%
在宅医療が必要	111	2.2%	55	2.1%	11	1.9%	177	2.1%
持病がある	1,869	36.3%	944	35.2%	178	30.6%	2,991	35.6%
介護が必要	567	11.0%	302	11.3%	56	9.6%	925	11.0%
困っていない	1,573	30.6%	942	35.1%	140	24.1%	2,655	31.6%
未回答	629	12.2%	264	9.8%	190	32.6%	1,083	12.9%
計	7,345		3,849		794		11,988	

3. 収入状況について

(1) 世帯主の主な仕事

「無職」が全体の約5割と最も多く、次いで「正社員（公務員等含む）」が約2割であった。

3- (1) 世帯主の主な仕事

(N=8,410)

	建設型応急住宅		賃貸型応急住宅		公営住宅		合計	
		割合		割合		割合		割合
正社員（公務員・団体職員含む）	1,221	23.7%	700	26.1%	91	15.6%	2,012	23.9%
パート・アルバイト	565	11.0%	312	11.6%	71	12.2%	948	11.3%
自営業（農林漁業者等含む）	597	11.6%	294	11.0%	28	4.8%	919	10.9%
無職	2,446	47.5%	1,201	44.8%	231	39.7%	3,878	46.1%
その他	175	3.4%	90	3.3%	12	2.1%	277	3.3%
未回答	142	2.8%	85	3.2%	149	25.6%	376	4.5%
計	5,146	100%	2,682	100.0%	582	100.0%	8,410	100.0%

(2) 現在の収入種別

「年金収入」が約6割と最も多く、次いで「給与収入」が約4割であった。

3 - (2) 現在の収入種別 (複数回答)

(N=8,410)

	建設型応急住宅		賃貸型応急住宅		公営住宅等		合計	
		割合		割合		割合		割合
給与収入	1,908	37.1%	1,096	40.9%	166	28.5%	3,170	37.7%
事業収入	526	10.2%	262	9.8%	30	5.2%	818	9.7%
年金収入	3,351	65.1%	1,545	57.6%	287	49.3%	5,183	61.6%
生活保護受給	20	0.4%	4	0.1%	6	1.0%	30	0.4%
収入なし	182	3.5%	96	3.6%	22	3.8%	300	3.6%
その他	98	1.9%	66	2.5%	14	2.4%	178	2.1%
未回答	92	1.8%	70	2.6%	141	24.2%	303	3.6%
計	6,177		3,139		666		9,982	

(3) 世帯収入額の見込み

「300万円未満」が全体の約6割と最も多く、次いで「300万円以上～500万円未満」が約2割であった。

3 - (3) 世帯収入額の見込み

(N=8,410)

	建設型応急住宅		賃貸型応急住宅		公営住宅		合計	
		割合		割合		割合		割合
300万円未満	3,053	59.3%	1,496	55.8%	316	54.3%	4,865	57.9%
300万円以上～500万円未満	1,033	20.1%	623	23.2%	63	10.8%	1,719	20.4%
500万円以上～700万円未満	394	7.7%	230	8.6%	16	2.8%	640	7.6%
700万円以上～1,000万円未満	171	3.3%	111	4.1%	7	1.2%	289	3.4%
1,000万円以上	77	1.5%	36	1.3%	3	0.5%	116	1.4%
不明	253	4.9%	106	4.0%	22	3.8%	381	4.5%
未回答	165	3.2%	80	3.0%	155	26.6%	400	4.8%
計	5,146	100.0%	2,682	100.0%	582	100.0%	8,410	100.0%

4. 住まい再建について

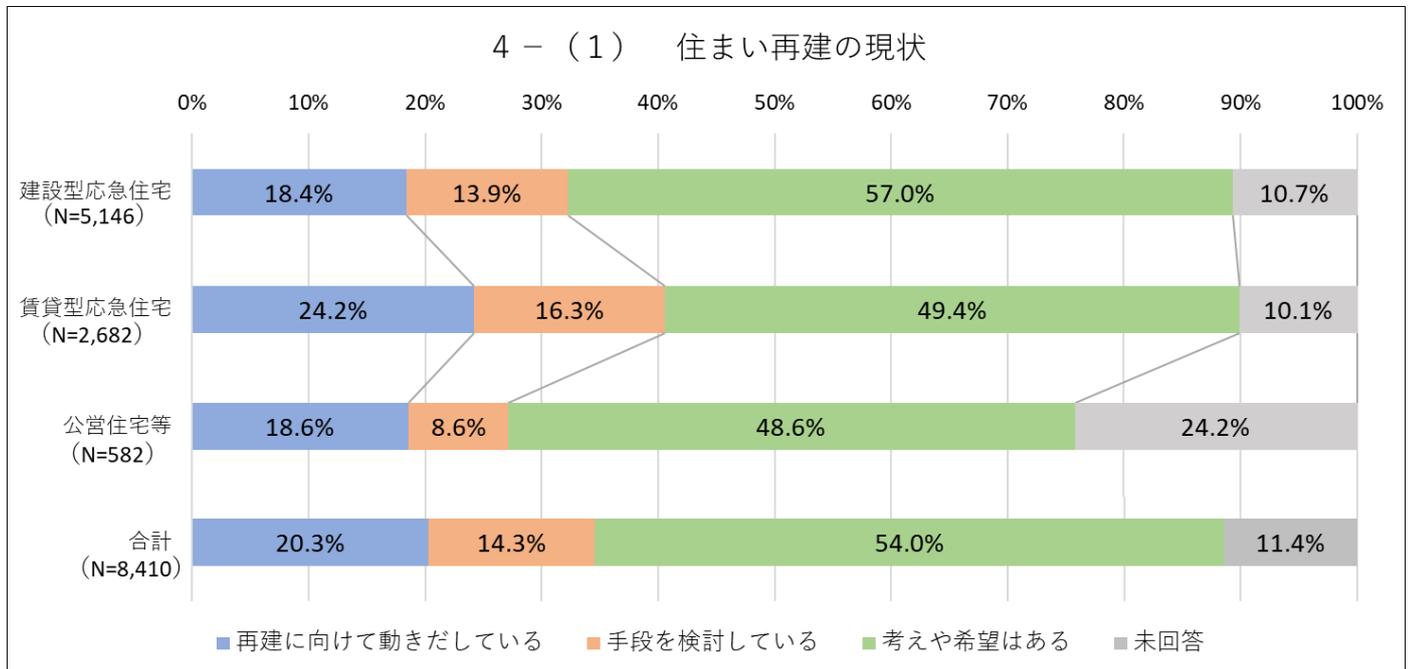
(1) 住まい再建の現状

「住まい再建に向けて動きだしている」が全体の約2割であり、「住まい再建の具体的な手段を検討している」と「住まい再建の方法について、考えていることや希望はある」を合計すると、約7割であった。

4 - (1) 住まい再建の現状

(N=8,410)

	建設型応急住宅		賃貸型応急住宅		公営住宅等		合計	
		割合		割合		割合		割合
再建に向けて動きだしている	948	18.4%	650	24.2%	108	18.6%	1,706	20.3%
手段を検討している	713	13.9%	438	16.3%	50	8.6%	1,201	14.3%
考えや希望はある	2,936	57.0%	1,324	49.4%	283	48.6%	4,543	54.0%
未回答	549	10.7%	270	10.1%	141	24.2%	960	11.4%
計	5,146	100.0%	2,682	100.0%	582	100.0%	8,410	100.0%



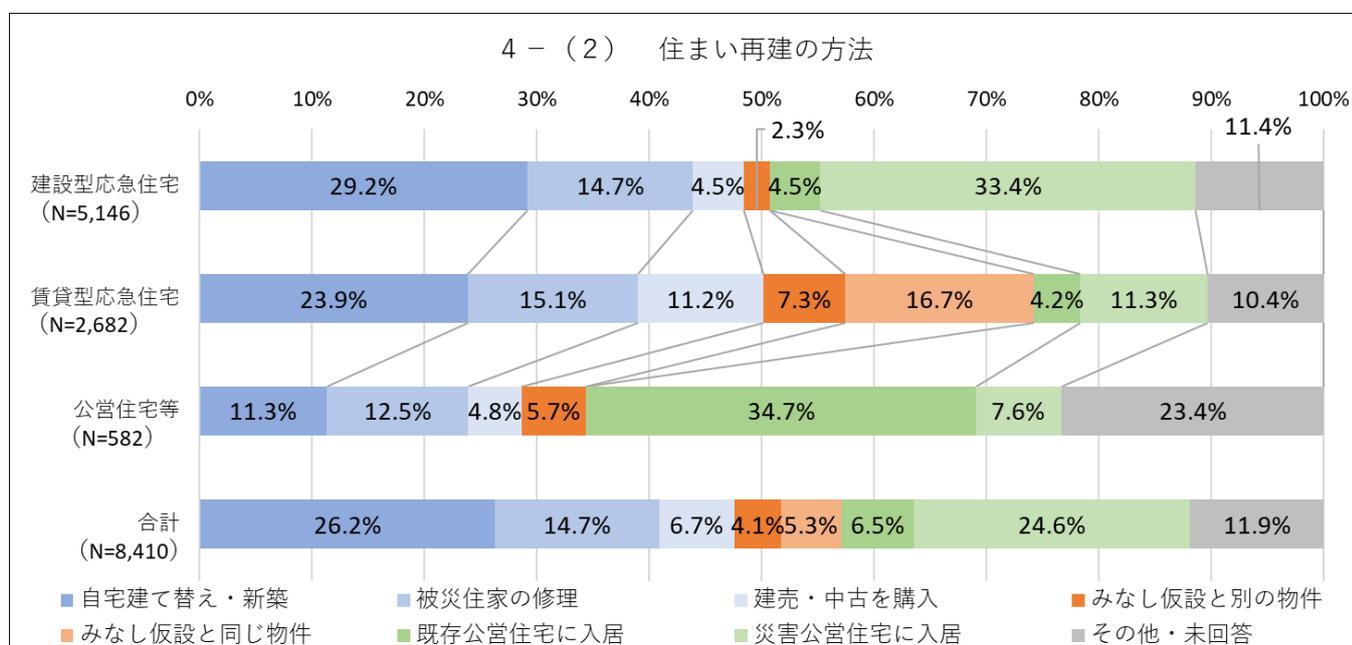
(2) 住まい再建の方法

新築や修理、物件購入等による「自宅再建」が全体の約5割、災害公営住宅を含む「公営住宅への入居」が約3割、「賃貸物件への入居」が約1割となった。

4 - (2) 住まい再建の方法

(N=8,410)

	建設型応急住宅		賃貸型応急住宅		公営住宅等		合計		
		割合		割合		割合		割合	
自宅	自宅建て替え・新築	1,501	29.2%	641	23.9%	66	11.3%	2,208	26.2%
	被災住家の修理	756	14.7%	405	15.1%	73	12.5%	1,234	14.7%
	建売・中古を購入	233	4.5%	300	11.2%	28	4.8%	561	6.7%
賃貸	みなし仮設と別の物件	120	2.3%	195	7.3%	33	5.7%	348	4.1%
	みなし仮設と同じ物件	0	0.0%	448	16.7%	0	0.0%	448	5.3%
公営	既存公営住宅に入居	231	4.5%	112	4.2%	202	34.7%	545	6.5%
	災害公営住宅に入居	1,719	33.4%	303	11.3%	44	7.6%	2,066	24.6%
	その他	192	3.7%	124	4.6%	26	4.5%	342	4.1%
	未回答	394	7.7%	154	5.7%	110	18.9%	658	7.8%
	計	5,146	100.0%	2,682	100.0%	582	100.0%	8,410	100.0%



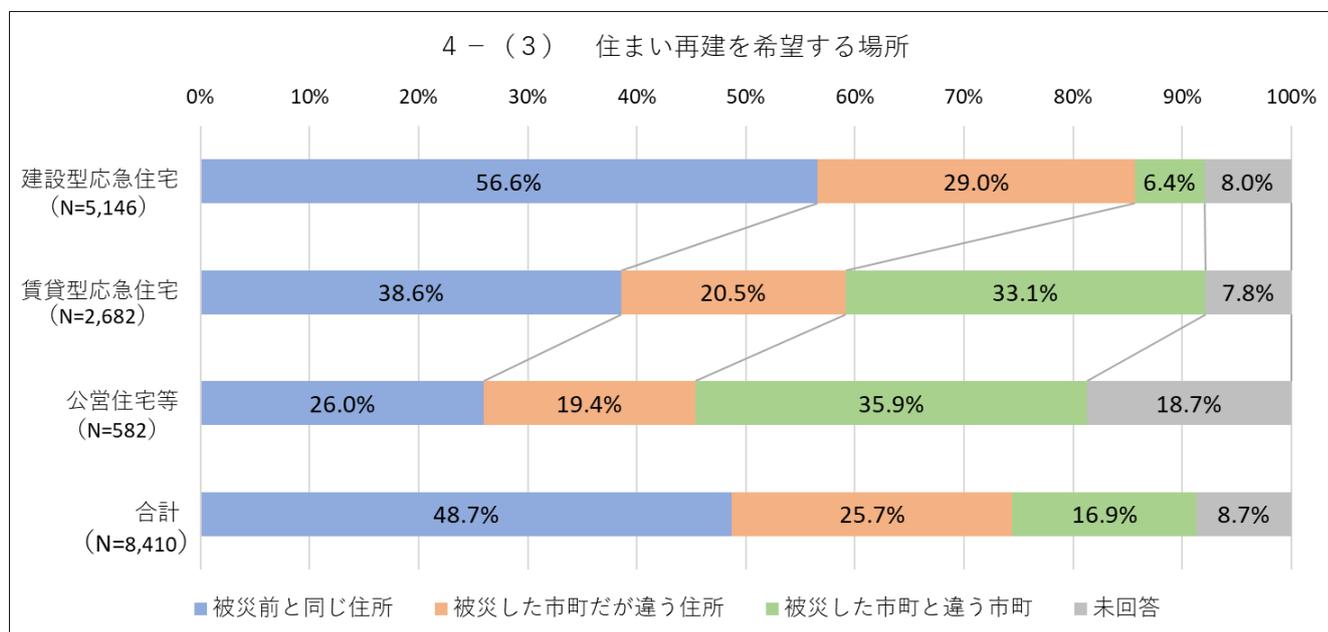
(3) 住まい再建を希望する場所

「被災した住所と同じ住所」、「被災した住所と同じ市町だが違う住所」を合計した、被災した市町での住まい再建を希望したのが全体の約7割であった。

4 - (3) 住まい再建を希望する場所

(N=8,410)

	建設型応急住宅		賃貸型応急住宅		公営住宅等		合計	
		割合		割合		割合		割合
被災前と同じ住所	2,912	56.6%	1,035	38.6%	151	26.0%	4,098	48.7%
被災した市町だが違う住所	1,495	29.0%	550	20.5%	113	19.4%	2,158	25.7%
被災した市町と違う市町	329	6.4%	887	33.1%	209	35.9%	1,425	16.9%
未回答	410	8.0%	210	7.8%	109	18.7%	729	8.7%
計	5,146	100.0%	2,682	100.0%	582	100.0%	8,410	100.0%



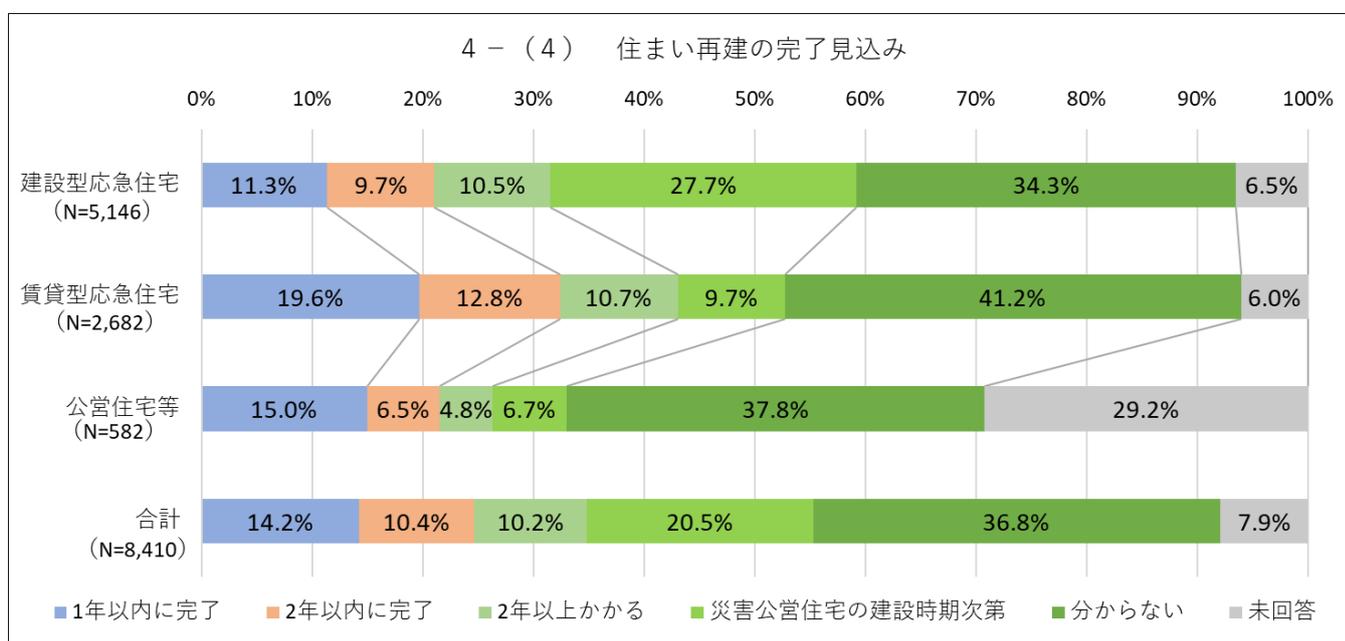
(4) 住まい再建の完了見込み

「分からない」が全体の約4割と最も多く、「災害公営住宅の建設時期による」と合計すると、全体の約6割が住まい再建完了の時期の見通しがたたない状況にある。

4 - (4) 住まい再建の完了見込み

(N=8,410)

	建設型応急住宅		賃貸型応急住宅		公営住宅等		合計	
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
1年以内に完了	583	11.3%	527	19.6%	87	15.0%	1,197	14.2%
2年以内に完了	499	9.7%	342	12.8%	38	6.5%	879	10.4%
2年以上かかる	540	10.5%	286	10.7%	28	4.8%	854	10.2%
災害公営住宅の建設時期次第	1,424	27.7%	259	9.7%	39	6.7%	1,722	20.5%
分からない	1,765	34.3%	1,106	41.2%	220	37.8%	3,091	36.8%
未回答	335	6.5%	162	6.0%	170	29.2%	667	7.9%
計	5,146	100.0%	2,682	100.0%	582	100.0%	8,410	100.0%



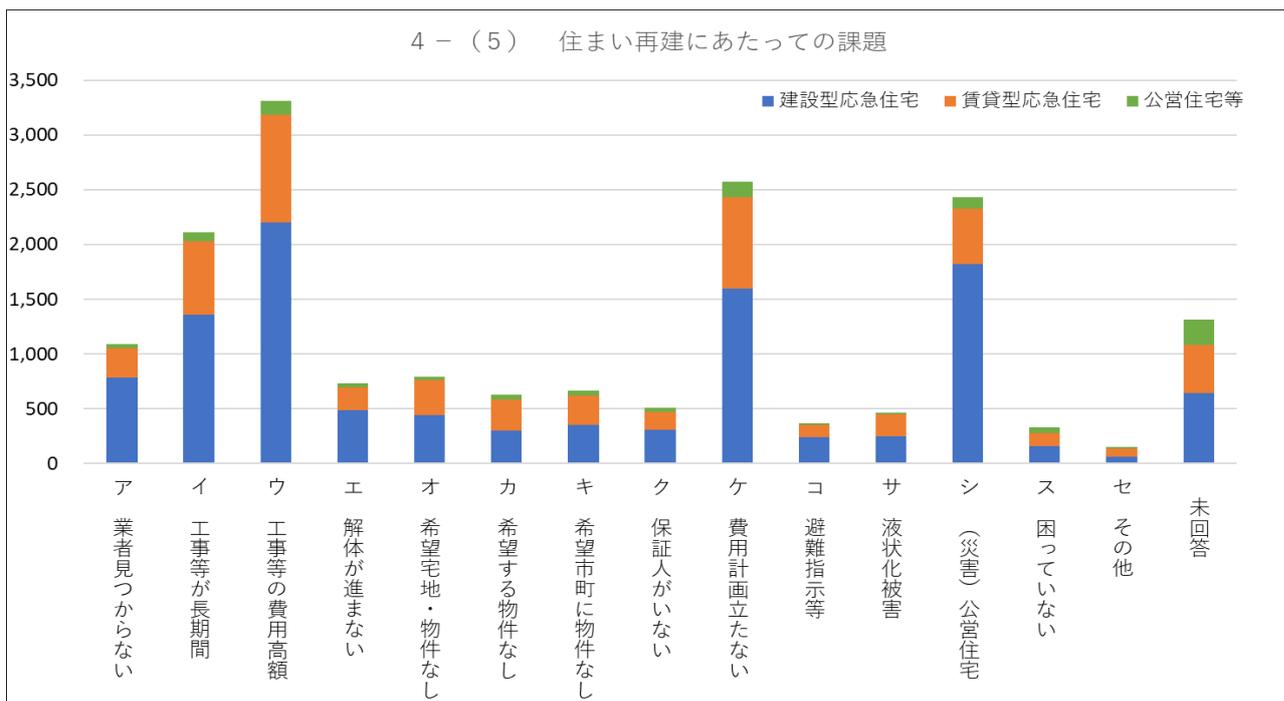
(5) 住まい再建にあたっての課題

「工事・修理の費用が高額」、「費用計画がたたない」といった住まいの再建費用のめどが立たないことや、「(災害) 公営住宅に入居できるかわからない」といった災害公営住宅の情報不足、「工事・修理まで長期間かかる」「業者が見つからない」といった工事完了までの期間の長期化を課題とした世帯が特に多かった。

4 - (5) 住まい再建にあたっての課題 (複数回答)

(N=8,410)

	建設型応急住宅		賃貸型応急住宅		公営住宅等		合計		
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
自宅	業者が見つからない	784	15.2%	272	10.1%	38	6.5%	1,094	13.0%
	工事・修理まで長期間	1,362	26.5%	671	25.0%	82	14.1%	2,115	25.1%
	工事・修理の費用が高額	2,205	42.8%	980	36.5%	124	21.3%	3,309	39.3%
	解体が進まない	491	9.5%	203	7.6%	38	6.5%	732	8.7%
	希望する宅地や物件がない	443	8.6%	319	11.9%	33	5.7%	795	9.5%
賃貸	希望する物件がない	300	5.8%	288	10.7%	41	7.0%	629	7.5%
	希望する市町に物件がない	356	6.9%	268	10.0%	39	6.7%	663	7.9%
	高齢者のため保証人がいない	307	6.0%	166	6.2%	39	6.7%	512	6.1%
その他	住まいの再建に必要な費用の計画が立たない	1,596	31.0%	836	31.2%	139	23.9%	2,571	30.6%
	避難指示・集団移転の方針がわからない	240	4.7%	115	4.3%	16	2.7%	371	4.4%
	液状化被害の復旧方法がわからない	250	4.9%	199	7.4%	14	2.4%	463	5.5%
	(災害) 公営住宅に入居できるかわからない	1,821	35.4%	506	18.9%	107	18.4%	2,434	28.9%
	困っていない	158	3.1%	124	4.6%	47	8.1%	329	3.9%
	その他	65	1.3%	69	2.6%	15	2.6%	149	1.8%
	未回答	642	12.5%	443	16.5%	227	39.0%	1,312	25.0%
計	11,020		5,459		999		17,478		



Ⅲ 参考資料

(1) 意向調査回答様式

住まいのご予定等に関する調査票

1. あなたの世帯について

問1 あなたの世帯の状況について、記入してください。

回答日 年 月 日

フリガナ	(セイ)	(メイ)		
入居代表者のお名前				
生年月日	西暦	年	月	日
現在の住宅の住所	〒 _____			
現在の住宅種別 ※1つに☑	<input type="checkbox"/> 建設型応急住宅 <input type="checkbox"/> 賃貸型応急住宅 <input type="checkbox"/> 公営住宅等			
調査票記入者の名前及び連絡先 ※日中連絡のつく電話番号を記入	<input type="checkbox"/> 入居代表者と同じ			
	(姓)	(名)	続柄	
	連絡先① (_____) 連絡先② (_____)			
被災した住宅の住所	〒 _____			
被災した住宅の種別※1つに☑	<input type="checkbox"/> 持家 <input type="checkbox"/> 民間賃貸住宅(借家、アパート等) <input type="checkbox"/> 公営住宅等 <input type="checkbox"/> その他(_____)			
被災した住宅の状況	<input type="checkbox"/> 全壊 <input type="checkbox"/> 半壊(中規模、大規模含む)で解体する <input type="checkbox"/> 半壊以上で応急修理を行う <input type="checkbox"/> 液状化被害 <input type="checkbox"/> ライフライン途絶 <input type="checkbox"/> 避難指示 <input type="checkbox"/> その他(_____)			
被災した住居の解体・撤去状況 ※1つに☑	<input type="checkbox"/> 解体・撤去済み <input type="checkbox"/> 解体・撤去の予定 <input type="checkbox"/> まだ決めてない <input type="checkbox"/> わからない <input type="checkbox"/> 解体・撤去しない <input type="checkbox"/> その他(_____)			

問2 あなたの世帯の構成について、記入してください。

名前		フリガナ		生年月日	続柄
(姓)	(名)	(セイ)	(メイ)		
(例)石川	太郎	イシカワ	タロウ	1975年7月14日	子

※記入上の注意点

- ・続柄の欄には入居代表者から見た続柄を記入してください。
- ・生年月日は「(西暦) ○○○○年○月○日」の形式で記入してください。

問3 あなたの世帯の構成員の健康状態について、当てはまる方がいるものすべてにチェックを記入してください。

ア	入院中である	<input type="checkbox"/>
イ	通院中である	<input type="checkbox"/>
ウ	在宅医療（訪問診療等）を受けている	<input type="checkbox"/>
エ	持病がある	<input type="checkbox"/>
オ	介護が必要である	<input type="checkbox"/>
カ	特に困っていることはない	<input type="checkbox"/>

2. 現在の状況について

問4 世帯の中で主として生計を支えている方の、主な仕事について、当てはまるもの1つにチェックを記入してください。

ア	正社員（公務員・団体職員含む）	<input type="checkbox"/>
イ	パート・派遣・アルバイト	<input type="checkbox"/>
ウ	自営業（農林漁業者等含む）	<input type="checkbox"/>
エ	無職	<input type="checkbox"/>
オ	その他（ ）	<input type="checkbox"/>

問5 世帯の中で主として生計を支えている方の収入の種類について、当てはまるものすべてにチェックを記入してください。

ア	給与収入	<input type="checkbox"/>
イ	事業収入（自営業での収入含む）	<input type="checkbox"/>
ウ	年金収入	<input type="checkbox"/>
エ	生活保護受給	<input type="checkbox"/>
オ	収入なし	<input type="checkbox"/>
カ	その他（ ）	<input type="checkbox"/>

問6 直近1年間の世帯の合計収入の見込みについて、当てはまるもの1つにチェックを記入してください。（義援金・支援金除く）

ア	300万円未満	<input type="checkbox"/>
イ	300万円以上～500万円未満	<input type="checkbox"/>
ウ	500万円以上～700万円未満	<input type="checkbox"/>
エ	700万円以上～1,000万円未満	<input type="checkbox"/>
オ	1,000万円以上	<input type="checkbox"/>
カ	不明	<input type="checkbox"/>

3. 今後の住まい再建について

※ここでいう『住まい再建』とは、「自らの資力で居住できる物件を確保し、その物件に移り住むことができるようになった状態」をさします。

(例：被災した自宅の修理、賃貸物件を自ら契約し入居、公営住宅へ入居など)

問7 住まい再建に関する現在の状況について、最も近いもの1つにチェックを記入してください。

ア	住まい再建に向けて動きだしている	<input type="checkbox"/>
イ	住まい再建の具体的な手段を検討している	<input type="checkbox"/>
ウ	住まい再建の方法について、考えていることや希望はある	<input type="checkbox"/>

問8 あなたが住まい再建の方法として、実施（計画）しているもの1つにチェックを記入してください。

※考え中の方は第1希望にチェックを記入してください。

自宅の再建	
ア	被災した自宅の建て替え又は新たに自宅を新築 <input type="checkbox"/>
イ	被災した自宅を修理（リフォーム含む） <input type="checkbox"/>
ウ	建売住宅や中古物件（アパート・マンション含む）を購入 <input type="checkbox"/>
民間賃貸住宅（借家、アパート等）	
エ	現在入居中の物件（仮設住宅）とは別の物件に転居 <input type="checkbox"/>
オ	現在入居中の物件（仮設住宅）に自費で入居を継続 <input type="checkbox"/>
（災害）公営住宅	
カ	公営住宅（市営、県営又は国営）に入居 <input type="checkbox"/>
キ	災害公営住宅が建設された場合は入居 <input type="checkbox"/>
その他	
ク	その他（具体的に記入してください。） <div style="border: 1px solid black; height: 60px; width: 100%;"></div>

問9 あなたが住まい再建先として希望する住所について、当てはまるもの1つにチェックを記入してください。

ア	被災した住所と同じ住所	<input type="checkbox"/>
イ	被災した住所と同じ市町だが違う住所	<input type="checkbox"/>
ウ	被災した住所と違う市区町村 →決まっている方は希望の市区町村名を記入してください 〔 都・道・府・県 市・区・町・村〕	<input type="checkbox"/>

問10 問9で「ウ 被災した住所と違う市区町村」を選んだ方に質問します。
違う市区町村への移転を希望するにあたって、特に重視することを3つまでチェックを記入してください。

ア	物件や土地	<input type="checkbox"/>
イ	知人・親戚などの人間関係	<input type="checkbox"/>
ウ	仕事・学校	<input type="checkbox"/>
エ	通勤・通学	<input type="checkbox"/>
オ	買い物・交通の便などの生活環境	<input type="checkbox"/>
カ	子育て環境	<input type="checkbox"/>
キ	医療・福祉	<input type="checkbox"/>
ク	その他（具体的に記入してください） 〔 〕	

問11 住まい再建が完了するのに、今後どれくらいかかる見込みか、当てはまるもの1つにチェックを記入してください。

ア	1年以内に完了する見込み	<input type="checkbox"/>
イ	2年以内に完了する見込み	<input type="checkbox"/>
ウ	2年以上かかる見込み	<input type="checkbox"/>
エ	災害公営住宅の建設時期による	<input type="checkbox"/>
オ	わからない	<input type="checkbox"/>

問12 あなたが住まい再建をするにあたって、課題となる（なりそうな）こととして、当てはまるもの全てにチェックを記入してください。

自宅再建	ア	修理業者や建設業者が見つからない	<input type="checkbox"/>
	イ	工事・修理完了まで長期間かかる見込み	<input type="checkbox"/>
	ウ	工事や修理の費用が高額	<input type="checkbox"/>
	エ	被災した住宅の解体が進まない	<input type="checkbox"/>
	オ	希望する条件に合う宅地や物件が見つからない	<input type="checkbox"/>
賃貸物件	カ	希望する条件に合う賃貸物件が見つからない （家賃・間取り・ペット・バリアフリー等）	<input type="checkbox"/>
	キ	希望する市区町村の賃貸物件が見つからない	<input type="checkbox"/>
	ク	高齢等のため借りるときの保証人がいない	<input type="checkbox"/>
その他	ケ	住まい再建に必要な費用の計画が立たない	<input type="checkbox"/>
	コ	避難指示・集団移転等の方針がわからない	<input type="checkbox"/>
	サ	液状化被害の復旧方針がわからない	<input type="checkbox"/>
	シ	（災害）公営住宅に入居できるかわからない	<input type="checkbox"/>
	ス	特に困っていることはない	<input type="checkbox"/>
	セ	その他（具体的に記入してください）	<input type="checkbox"/>

問13 住まいの復興や生活の再建などに関してご意見があれば自由に記入してください。

質問は以上です。ご回答ありがとうございました。